

医学生と民医連の
情報誌

© SAKA
medi-wing

69
2018

特集

春から始める 病院実習

医師を目指す
あなたへ

なにわの医療道場
“いのち”のものがたり

高校生・受験生の
みなさんへ
未来の医師を応援

いがくせいだより／けんしゅうエッセー



OPEN HOSPITAL



春から始める 病院実習

新1年生から6年生まで

私たち大阪民主医療機関連合会（以下大阪民医連）では、加盟する病院や診療所、介護などの福祉施設で医学生のみなさんの実習受け入れを行っています。

実習を通じて、大学の講義で学んだ事が医療現場でどのように実践されているのかを見学したり、大学の講義では学ぶことのできない医療現場の実際や、患者さんの思いに触れるなかで、将来の医師像について考えるきっかけにいただければと思います。

実習に興味はあるけど、いつ？どこ？ なんてことが出来るの？ そんな疑問にMedi-Wing大阪がお答えします。それでは、実習の扉を開いてみましょう。

はじめまして 民医連です

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。

戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。

それから60年余り、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってきました。

最も困難な人たちの立場に立って、寄り添う。

設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を頂いていません。また、無料低額診療にも取り組んでいます。これは、「お金のあるなしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

大阪民医連は、大阪府下に、4つの病院、48の診療所、5つの歯科事業所、2つの老人保険施設、20の訪問看護ステーション、34の保険薬局、看護専門学校などを運営しています。（2017年10月現在）

大阪民医連現勢

（2017年10月現在）

- 病院 (4)
- 歯科 (5)
- 保険薬局 (34)
- 看護・介護学校 (1)
- 老人保健施設 (2)
- 鍼灸所 (1)
- 無床診療所 (48)
- 訪問看護ステーション (20)
- 薬剤・診療材料センター (2)
- 検査センター (1)
- 在宅看護支援センター (1)
- 研究所 (1)

民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数	(2017.1現在)
病院	142
有床診療所	14
無床診療所	486
歯科	80
訪問看護ステーション	251
保険薬局	352
薬剤・診療材料センター	34
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	53
在宅看護支援センター	27
特別養護老人ホーム	32
鍼灸所	4
研究所	2
ヘルパーステーション	57
グループホーム	23
在宅介護福祉関係施設	207
ケアハウス	10
その他	13
合計	1,797

主な医療団体との比較

職員数

民医連	80,833	(2016年度)
日赤	66,932	(2016.4.16)
厚生連	54,907	(2016.3)
済生会	59,000	(2016.4)

1日平均の外来患者数

民医連	69,700	(2015年度)
日赤	69,000	(2016年度)
厚生連	48,689	(2015.3)
済生会	28,986	(2014.3.31)

訪問看護ステーション数

民医連	251	(2017.1)
日赤	47	
厚生連	107	
済生会	53	

診療所数

民医連	505	(2017.1)
日赤	5	(2016年度)
厚生連	66	(2016年度)
済生会	19	

1日平均の入院患者数

民医連	22,697	(2015年度)
日赤	29,846	(2016年度)
厚生連	26,560	(2016.3)
済生会	18,301	(2014.3.31)

病院数

民医連	142	(2017.1)
日赤	92	(2016年度)
厚生連	110	(2016年度)
済生会	80	

病床総数

民医連	21,720	(2015年度)
日赤	36,655	(2016年度)
厚生連	34,460	(2016年度)
済生会	22,406	

(調査日)

外来

体調不良やけがをして初めて医療機関を受診する時、または継続的な治療を行う際に、病院に入院することなく、通院して診察を受けるのが外来診療です。外来には風邪の患者さんもしれば、高血圧や糖尿病、もっと難しい病気の患者さんもたくさんいます。

患者さんの年齢も様々、また、経済的な事情など、患者さんの社会的な背景も様々です。それぞれの患者さんに対して医師やスタッフがどのような対応をしているのか、実習を通じて患者さんをフォローする医師の姿から自分の将来の姿をイメージすることもできます。



救急外来



民医連の救急のモットーは『断らない救急』です。
例えば耳原総合病院では年間2000台以上の救急搬送がありますが、その多くは『到着して見るまでどんな状態で来るかわからない』中での受け入れです。命に係わるような緊急性の高い患者さんから、ホームレスや「行き倒れ」の方まで様々な方が搬送されてきます。また、

施設入所して認知症のある患者さんや訪問診療でフォローされている患者さんなど含めて、高齢者の割合が多くなっています。低学年でもそうした様子を見学してもらうことができます。

病棟

病棟には、外来や訪問診療などで医師が管理する疾患について、入院治療が必要だと判断した患者さんがやってきます。実際の実習では、病棟回診に同行したり、患者さんの相手になったりしていただくこともあります。また、条件が合えばカンファレンスに入ってもらったりすることもあります。カンファレンスは、医師や看護師、リハビリスタッフ、介護福祉士、MSW、事務、時には患者さん自身やその家族、自治体職員なども入って多職種で話し合います。模擬カンファレンスでは、実習生から聞き取った内容を報告してもらったり、一緒にディスカッションに参加していただくこともあります。



オペ見学



小さいころ、手術をする医師の格好いい姿をテレビや本で見て憧れた方も少なくないのではないでしょうか。
病院では低学年から実際のオペ現場を体験・見学することができます。手洗いやオプの着用などのレクチャーも受けることができます。



短時間に病理診断を下して、手術方針を決めるのに役立つ『術中迅速診断』も病理医の重要な業務です。
③細胞診断は、注射針や内視鏡で採取した細胞や尿、喀痰などの体液を顕微鏡で観察し悪性細胞の有無について検査します。
実習ではこうした検査を通して、様々な細胞をみる事が出来ます。また普段の病理医の業務の様子も見学できます。

病理診断科

病理医の主な業務は①『病理解剖(剖検)』、②『組織診断(生検および手術材料)』、③『細胞診断』とあって、病気の診断や医学進歩の上でとても大事な役割を担っています。
①病理解剖は疾患が原因で亡くなった患者さんの死因、病態解析、治療効果などを検証し、今後の医療に生かすことを目的に行います。
②組織診断は病変部から採取(生検といいます)した、小さい組織片を顕微鏡でみて診断したり、手術して切除された検体から臨床診断を確認したり、どの程度病気が進展しているかなどを検証することです。手術中の

訪問診療見学

在宅医療は、民医連が掲げる『地域に根ざした医療』の最前線です。
訪問診療は高齢、難病、寝たきり状態、認知症などで通院が困難な方や、終末期(がんや老衰)でご自宅での療養を希望される方に対して、医師・看護師が定期的にご自宅へ訪問し診療を行います。患者さんの容態の急変に備えて365日24時間体制で対応する場合があります。

ご自宅で診療を行うため、患者さんの普段の様子を見ることができ、入院や外来診療ではわからない患者さんの情報を得ることもあります。設備も人手も限られる中で医師として高い臨床能力が求められる、実習ではそうした現場を見学することができます。



健康診断

元気な人が病院に来る用事があるとしたら、それは健康診断くらいなのではないでしょうか。しかし、ひとびとの健康を守るということは時に病気を治すことよりも大切な医師の使命です。健診見学では、検査をする様子を見学してもらうことが出来ます。エコーや胃カメラ、レントゲン、胃透視は健康を守るために、病気ではないということを確認するためにも大切な検査になります。ここでは、それぞれに関わるスタッフの技と姿勢を間近に見ることが出来ます。



訪問看護



訪問看護師さんの袍には、色々な道具が入っています。それは、在宅での看護師さんの仕事の幅が広がって大変だからです。血圧などのバイタルチェック、排泄、浣腸、薬の管理や入浴・衛生管理、鍵などの防犯チェック、医師やヘルパーさんとの調整・情報共有など、大小さまざまな岐にわたります。これは、一人の患者さんが在宅で抱える問題が多様で複雑なことの反映ともいえます。

喫煙防止教室



西淀病院ではATB（あかん・タバコ・ぼくめつ）グループを中心に、区内の小学校へタバコについての授業を行う喫煙防止教室を行っています。この活動は医師会や区役所の活動の一環としての役割もあり、行政とコラボレーションした地域の健康増進（HPH）活動です。授業では、医師からの講義の他、「喫煙をしている先輩役 親戚役」になり小学生にタバコを誘い、それを小学生が「キッパリと断る」というロールプレイングもしています。タバコを誘う役には職員や地域のボランティアさん、学生さんにも協力してもらっています。

その他

民医連の医療や介護にかかわる活動や、健康づくりにかかわる取り組みであればなんでも見学・参加してもらうことが出来ます。薬剤部や栄養科、検査科にデイサービス、ケアプランセンター、グループホーム、老健や特養といった施設から歌声班会、ストレッツ班会、など多岐にわたる班会活動、種々の学習会に健康まつりといったものまで、興味があればどんなことにも参加できます。まずは気軽にお問い合わせください。また、実習の申し込みはホームページからできます。申し込みフォーム（QRコード）もしくは『医学生ドットコム』で検索して専用フォームからお申し込みく

医師だけでは支えきれない在宅療養を訪問看護や訪問介護で支えています。高齢化と、地域包括ケア時代の中心となってくる在宅医療、その渦中にいる患者さんや看護師さんを実際に見学してこそ得られるものがあります。

リハビリ

リハビリとは、疾患により『立つ』『座る』『歩く』といった動作が困難になった患者さんの『○○ができるようになる』『○○がしたい』という願いに医師が応えて、医学的に判断をし、国家資格（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など）を持った専門スタッフに指示を出して訓練を行います。そうして、患者さんが生活だけでなく、家や地域、学校、社会などでその人らしく生きていくための支援を行っています。実習では、そんな人生のワンシーンに触れる仕事の様子を見学してもらいます。チャンスがあれば、松葉杖などの装具を体験することもできるかも。



ださい。

※今回紹介した内容は、受け入れ施設の医師体制などによってご希望に添えない場合がございますので予めご了承下さい。



用語集

- **病院**：20床（ベッド数）以上が入院できる医療施設
- **診療所**：20床未満の入院施設を持つ、あるいは入院施設を持たない医療施設
- **カンファレンス**：患者さんや疾患についての会議や相談をする際に集まることをこのように言います。
- **MSW**：Medical Social Workerの略。外来、入院関わらず患者さんの退院や通院の医療相談員。支払いが難しいなどの医療を受けるうえでの経済的な相談にも応じています。
- **臨床**：患者さんの治療を行う行為や場所、その現場。
- **バイタルチェック**：血圧や体温など決められた項目について観察、計測し評価する事
- **地域包括ケア病棟**：病状が安定してきて、自宅や施設、退院など社会復帰に向けて入院する病棟。専門スタッフが介入し、退院後もその人らしく暮らすためのサポートをおこなう。
- **地域包括ケア時代**：超高齢社会で高齢者が自分らしく生活できるように支える社会のしくみ。
- **HPH（健康増進活動拠点病院）**：WHO（世界保健機関）に位置付けられた、健康づくり活動を進め広げる病院。
- **班会**：病院の様々な活動に関わっていただいている地域住民の方が、健康づくりのために集まって学習や交流を行うサークル活動。



◆ 手技レクチャー ◆

医師体験ではなかなか体験できないプログラムを特化した企画です。BLS（一次救命処置）体験、縫合キットを使った縫合体験や腕の模型を使った採血など時々で内容は変わりますが医師になった気分を先取りしてモチベーションアップ!! 医師との交流もできます。



医師体験

日曜・祝日などを除く診療を行っている日であれば、いつでも受け入れを行なっています（土曜日は要相談）（12/29～1/4は診療を行っていないため受け入れ不可）。日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。お近くの事業所をご紹介しますのでお気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオベ見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることのない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。



さまざまなボランティア活動

小学生・中学生の無料塾、せん妄予防の病棟患者さんの見守り・車椅子散歩、介護施設やデイサービス、通所リハビリテーション、認知症カフェ、緩和ケア病棟の喫茶など。開催日時はお問い合わせください。

◆ 模擬面接 ◆



推薦入試とセンター試験後の時期に開催。「面接とは？」のレクチャーの後、医師と管理職のプ口的面接官を前に面接を行ないます。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行ないます。交流会では参加者や医師との交流も行ないます。

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ
未来の医師を応援

I want to be

a doctor

◆ 医学生としゃべり場 ◆

6月と10月に開催。様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざっくばらんにお話することができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。医師の講演会もありますので医学生と一緒に学べる企画です。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中!



合格おめでとう会 & 入学前実習

医師体験を経験した病院等で医師体験からステップアップした実習を行ないます。医師体験の時に会った医師やスタッフがお祝いに駆けつけます。どんな医師になりたいのか、どんな医療をやりたいのか、今後待ち受けている医学生生活についていっぱい話しましょう!



◆ 医療セミナー ◆



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「高校生妊娠」をテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか?」「家族の立場なら?」「お医者さんの立場なら?」と、様々な立場での視点でディスカッションをしました。自分の意見をしっかり伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師との交流もしっかりできます。



申し込み方法



または 医学生.com 検索

耳原総合病院 南里直実

Naomi Nanri

こんにちは。耳原総合病院初期研修2年目の南里直実です。1年間の必修研修を終え、今は選択研修をしています。まだまだ勉強不足で、日々悪戦苦闘しながら過ごしています。つらいこともありますが、一番の原動力は患者さんです。ありきたりな言葉ですが、本当に実感しています。

耳原では、主治医として患者さんに一番に関わらせてもらえるので、ひとりひとりとなかなか深い関係になることも多いです。1年半研修をしていると、色々な患者さんに出会いました。患者さんとの思い出はたくさんあるんですが、その中からひとつ。

糖尿病内科研修中、糖尿病の血糖コントロール目的に入院してきたおじさん。最初は治療に非協力的でしたが、話をしたり、糖尿病の説明をしている中で、治療を受け入れてくれ、血糖値もよくなって元気に退院しました。退院の時、「こんなに体が軽くてご飯がおいしくなると思っ

ていなかった。関わってくれたみんなに感謝しています」と、言ってくれました。患者さんの生活が少しでもよくなったのなら、本当によかったです。思いました。こういう瞬間に医者やりがいを感じますし、また頑張っていこうと元気をもらえます。同時に、人の元気になる力にテンションが上がります。

3食きちんとバランスよく食べてくださいねと伝えて見送ったのですが、数時間後に交通事故で救急外来に戻ってきました。びっくりして会いに行く、幸い大したことはなく、「先生がきちんとお昼ご飯食べるよ」と言っていたから、12時に間に合うようにお惣菜屋さんに向かって急いで自転車こいでたら、車にはねられました」と、申し訳なさそうに言

われしました。そういうつもりで言っていたか、初めてのことには狼狽する私を子どもたちが引張っていつてくれました。

たわけではなかったんですが…。やりがいの反面、医者の言葉は常に責任が伴うものだと痛感した瞬間でもありました。

またこれからどんな人に出会おうでしょう。みなさんもぜひ、ドラマチックな研修医生活を送ってください。

南里直実 PROFILE ● 奈良医科大学2015年卒業。同年4月より耳原総合病院にて初期研修を開始。



大阪市立大学 藤井厚一郎

大阪府

大阪市立大学2回生の藤井厚一郎と申します。大学生になってから「ボランティア」という単語を見聞きする頻度が増したように感じています。たいていの大学にはボランティアセンターがありますし、大きな病院では病院ボランティアを配置するのが一般的になってきました。でもボランティアしてる人ってマイナーじゃないですか？ 今回は僕が2年前から細々と続けているボランティア活動の話をお話したいと思います。マイナーな医学生のひとりごとだと思って読んでいただくと幸いです。

ボランティアを始めたのは浪人生のときの夏でした。予備校の寮に住んでいたのと寮と予備校を往復するだけの毎日でした。寮の規則でバイトは禁止、浪人生の分際で遊びに行くのも気がひける。ボランティアは勉強から離れるかっこうの口実でした。

大阪ボランティア協会というところにメールを送っていくつかボランティアを紹介し



ていただきました。その中から大阪市西成区にある「こどもの里」という施設で子どもと遊ぶボランティアを選びました。「こどもの里」のホームページは <http://www.eonet.jp/~kodomonosato/> 施設に行く前に、子どもとの接し方の本を一冊だけ読みました。あまり役には立ちませんでした(苦笑)。

「こどもの里」で日が暮れるまで思いっきり子どもと遊ぶ。そんな夏を過ごしました。お盆には、子どもたちと夏祭りに行きました。子どもたちとスイカをかじったり、小銭を手に屋台をまわったり、慣れない盆踊りに苦戦したりしました。

「こどもの里」では冬に「こども夜回り」という活動が行われます。夜に街に出て、子どもたちと一緒に野宿をされている方のもとを訪れます。「お身体の具合は大丈夫ですか？」と健康を気遣う言葉からはじめ、野宿をされている方と言

葉をかわしました。初めてのことに狼狽する私を子どもたちが引張っていつてくれました。

大学1回生の夏にはサマーキャンプに参加しました。3泊4日にわたって子どもたちと過ごし、ヘトヘトになるまで遊びました。また、夜には「こどもの里」の職員さんと一緒にミーティングをしました。危険な場面はなかったか、みんな楽しめているかなどを話し合いました。

「こどもの里」のボランティアを通して、毎日を一生懸命に過ごしている子どもたちに出会いました。子どもたちは、それぞれの感じ方で周りの世界を捉え、体験を積み重ねていました。そして、ひとりひとりの子どもをよく観察し、守り育てようと尽力されている人の姿を目の当たりにしました。自分もこの子たちの健康と発達を守る医師になりたいなあと思うようになりました。

主張も結論もない文章となってしまいました。マイナーな学生もいることを知るきっかけとなれば幸いです。

国試対策にも役立つ なるほど道場



重留 一貴
Shigetome Kazuki
耳原総合病院 研修医

初めまして！ 大阪府堺市にあります耳原総合病院で初期研修2年目として働いている重留と言います。学生時代は6年間バスケット部で走り回り、部活のある日もない日も全力で遊びまわっていました。勉強が大事なものは当然ですが、それ以外のことも学生のうちにやってください。自分の好きなこと何でもいいので、その代わり全力で。そうすれば失敗しても後悔はしなはずです。しかしまあ、長い旅になります。肩の力を抜いてマイペースに行きましょう。

PROFILE ●大阪医科大学2016年卒業。同年4月より耳原総合病院で初期研修を開始。

応募方法

応募締め切り：2018年6月30日(土)

E-mail送り先：igakusei@oskmin.com

「なるほど道場」プレゼント係

大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階 TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977

No.68
の答え

- Q1. ㉠: どんなに優秀な医者、救急救命士でも一人では命は救えません。㉡㉢両方とも「周りの人を呼ぶ」選択肢になっています。
Q2. ㉠: 「うつ病では希死念慮確認」、「重要な決定の延期」、「励ましてはいけない」が国試でもよくです。
Q3. ㉠: ㉠は人によって差があり、確定が難しく、採用されていません。確定のしやすい㉡で妊娠週数の開始日とされています。



facebook「大阪民医連医学生ページ」は、皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。

[Facebook 大阪民医連医学生ページ](#) 検索



国試対策も役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で10名様に「Quoカード1000円分」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2018年6月30日(土)

今回の出題

- Q1 関節リウマチの診断基準のうち2010年以降入っていないものはどれか？
 ㉠ 発症後の期間
 ㉡ 腫れや痛みのある関節数
 ㉢ 朝のこわばりの有無
- Q2 正常の心電図において他と逆向き(下向き)となっている誘導はどれか？
 ㉠ aVF
 ㉡ aVR
 ㉢ III
- Q3 この中でCTにて最もlow(黒)に写るのはどれか？
 ㉠ 血管
 ㉡ 骨
 ㉢ 出血

大阪民医連では医師をめざす医学部のみなさんを応援しています。そのため、各大学医学部の近くに医学生サポートセンターを設置しています。

大阪民医連に加盟する病院・診療所・関連施設での見学、奨学金制度、ボランティア等の各種セミナー・企画のご紹介など、医学生の方の学生生活のサポートなどを目的として活動しています。

また、定期的に学習会や情報提供などの活動を行っています。専任スタッフをはじめ、企画にこられる現役医師や職員があなたの進路に関する悩みや不安の相談にもなります。お気軽にご利用ください。



高槻医学生サポート企画



大阪医科大学の近くに現在、医学生サポートセンターはありませんが、大学付近の貸会議室や大学内の施設を借りて医学生向けの学習会を定期的に行っています。学習テーマは学生の「これやってみたい」という要望に応じて開催しています。内容によって研修医の先生から研修の話や初期研修病院の選び方について話してもらったり、プライマリ・ケア認定医の先生からプライマリ・ケアについて話してもらったりしています。少人数で学習会を行っているのが気軽にディスカッションしながらできる雰囲気です。こんな学習会をやりたいなど要望ありましたら気軽にご連絡下さい。また、大阪民医連のFacebookやTwitterで学習会の情報は発信しています。(P.15参照)

是非、一度学習会へ参加してみてください。

過去の学習会一覧

- ・ 初期研修について
- ・ 集団をまとめる力、リーダーシップについて
- ・ 医学教育について
- ・ プライマリ・ケアについて
- ・ 高齢者医療について
- ・ ディスカッション
- ・ 医療安全について



私たちは
おおさか民医連
Osaka Min-iren

大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2018年、連合会設立65周年を迎えます。現在、4つの病院、48の診療所、5つの歯科診療所、2つの老健施設、20の訪問看護ステーション、34の保険薬局、そして1つの看護専門学校が、大阪民医連に加盟しています。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

奨学金
制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース

1~2年生 50,000円

3~4年生 60,000円

5~6年生 70,000円

Bコース

全学年 100,000円

他の奨学金との併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）



臨床研修
指定病院

耳原総合病院（病床数 386床）

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501(代)
- 南海高野線堺東駅よりバス10分



臨床研修
指定病院

西淀病院（病床数 218床）

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分

